

# 委託事業実施内容報告書

## 平成20年度地域日本語教育支援事業【日本語教室設置運営】

受託団体名 地球っ子プロジェクト

### 1 事業の趣旨・目的

外国人児童生徒（日本語を母語としない児童生徒）が、よりはやく日本の生活に慣れ、学校での学習活動や地域の行事に参加できるよう支援を行う。具体的には「子ども日本語教室」を常設、夏・冬休み子ども日本語教室を実施する（3日と1日）。

### 2 運営委員会の開催について

【概要】

開催日時	出席者	議題	会議の概要
20.10.17(金) 12:00 ～14:00	東京学芸大学 齋藤ひろみ 船橋市教育委員会 鈴木攻三 水野恵子 地球っ子：代表 宮 副代表 浦和、会計 安部、幹事 坂井	1. 地球っ子プロジェクトの活動概況報告 2. 夏休み子ども日本語教室の活動報告 3. 意見交換	左記議題の報告等をもとに ・児童生徒に、学力と日本語力の差が見られる場合の対策 ・初めてのボランティアの心構え ・居場所を求めている子供たちへの対応等有意義な意見交換ができた。
21. 4. 4（土）	同上		

### 3 日本語教室の開催について

- ① 日本語教室の名称 子ども日本語教室
- ② 開催場所 船橋市東部公民館
- ③ 学習目標
  - ・児童の学年、年齢、日本語力により7～8班を編制。
  - ・日本語学習用の教科書を使用して体系的な学習。
  - ・グループ学習により、日本語を共通語として、母語の違う児童が日本語学習という課題を共有して互いを向上させる。
  - ・児童が抱える悩みや苦勞を共有する仲間が集い、充実した生活ができるように支援する。
- ④ 使用した教材・リソース  
『みんなの日本語』『ひろこさんのたのしいにほんご』『にほんごをまなぼう』『絵でわかるかんたんかんじ』『かんじだいすき』『JSLカリキュラム』教科ドリル類、他自作のカード、

## 教材

### ⑤ 受講者の募集方法

教育委員会、市内小中学校及び国際交流協会などによる紹介と募集。

外国人同士による紹介。

### ⑥ 受講者の総数 61 人(延べ人数ではなく、受講した人数を記載すること。)

### ⑦ 開催時間数(回数) 64時間 (全32回)

### ⑧ 日本語教室の具体的内容

別添表参照

### ⑨ 特徴的な授業風景(2~3回分)

#### (1) 通常の授業

##### 1. 小学生低学年入門 (中国 小1、小2姉妹2名 一日目)

前半(受付を済ませた後30分)

あいさつ

「私は(名前)です」・「中国から来ました」

「ありがとう」・「おはよう」が言えるように何度も練習

名前を呼ばれたら、「ハイ」と返事をする練習

起立、礼、着席の号令に合わせて体を動かす練習

休憩(15分) → 飲物とおやつをもらって「ありがとう」と言えた

後半(45分)

言葉の練習

→ 学校でよく使う単語として文房具などの名前 (鉛筆・消しゴム・机・椅子・ノート・黒板・教科書)

→ きれいな色のセーターを着ていたの、色(黄色・白・赤・黒・ピンク)

→ 1から10まで指を折りながら数える

トイレの使い方実践

→ ドアを開けたまま用をたそうとしたので、ドアは閉めて入ること

→ 流さないで出てきたので、必ず流すこと

##### 2. 小学生中学年初期指導修了(フィリピン、帰国、日本 小3 女子3名)

前半(60分)

習慣となっている絵日記をそれぞれ読む

→ 内容のカタカナの使い方が気になったのでひらがなからカタカナに変換しての書き方を1ページ練習

『科学なぜどうして 3年生』「地球が、太陽のまわりをまわっているって、ほんと？」の読み

→ 読む前に地球と太陽ってどっちが回っているか、もしくは両方回っているか、を予想させて、ノートに書かせる

→ 段落ごとに読ませる(割り算の $6 \div 3$ で一人2段の割り当てを自分たちで計算)

→ 内容を確認して、自分の予想とどうちがっていたか(もしくは同じだったか)書

させる

休憩（15分） 飲物とおやつを配る係をいつも率先して行う

後半（45分）

→読みの続き 段落ごとに要約をさせる（いつ、誰が、どこで、どうした、何をいったか）

言葉のきまりのプリント「助数詞」（鉛筆3ダース、ご飯1ぜん たたみ2畳など）

### 3. 小学生中高学年初期指導修了（小4～6 中国、フィリピン 男女 4名）

前半（60分）

国語ドリル（4年生）「まだ、とうとう、じっくり、はっきりと」を文中にあてはめて文章を完成させるプリント

「〇〇しながら〇〇する。」→皆で順番にジェスチャーをし、それを見て「何をしながら何をしてるか」当てっこし、ノートに書く

休憩（15分）

後半（45分）

読み聞かせ 「クリスマス・プレゼント」 オー・ヘンリー著

→読む前にあらかじめ与えておいた質問三つを、読んだ後で答えてもらい、ノートにも書いてもらう。

慣用句カード 「息が合う」「肩をおとす」「手をやく」「肩を貸す」「耳にする」「へそを曲げる」「顔から火が出る」他、読みと意味の説明。

### 4. 中学生漢字圏・非漢字圏混合 初級後半（中国、フィリピン、タイ、日本生まれ 小6～中2 男女8名）

前半（45分）

俳句を読んで、意味がわかるように絵を描く

→小林一茶の「雀の子そこのけそこのけお馬が通る」「痩せ蛙負けるな一茶是にあり」「うつくしや障子の穴の天の川」「やれ打つな蠅が手をすり足をする」

→絵の説明をさせ、理解を確認。説明の言葉の日本語を訂正。

休憩（15分）

後半（60分）

『クラス活動集131』より、「自動詞＋ている」を使って、絵を見て状況を説明する。  
口頭練習の後、説明文を筆記→ひらがな表記、漢字の訂正

## 4 事業に対する評価について

### (1)当初の学習目標の達成状況

当グループの目標は、「より早く生活に慣れること、学校での学習活動や地域の行事に参加できること」であるので、目標達成度は日本語の能力の伸びとは必ずしも一致しない。達成状況の評価基準としては、参加の態度（参考資料 a）、学校派遣協力員との情報交換によるところが大きい。船橋市内には日本語支援を必要としている児童・生徒が約100名

いる（教育委員会指導課調べ）が、子ども日本語教室へは今年度61名の参加者があり、その内45名が年度末まで残っている結果から、当教室の意義を保護者または本人が感じていることと推測される（参考資料b.年度末感想文のまとめ）。退会者の退会理由としては、保護者の都合による帰国（2名）、本人の希望による帰国（1名）、日本語の上達で支援の必要がなくなった（2名）、高校進学、他の活動を土曜日に始めた（3名）、小学生で保護者が送迎できなくなった（3名）、その他推測として、本人の学習意欲がない、活動が適していない等（5名）があげられる。「当教室では明るいが、学校では話をしない」「学校の規則を守れない」という子どもも数名いるが、引き続き支援していく必要があると思われる。

## (2)学習者の習得状況

当グループでは、H19年に早稲田大学の川上郁夫教授のJSLバンドスケールの講習を受けた。日本語の習得状況評価については、これを基準の一つとして表した。（参考資料 a）日本語以外の要素については、グループの担当ボランティアの報告による。

個々の意欲や、習得の速さに差はあるものの、総じて+1～+3の向上が見られる。漢字圏の子どもについては、漢字の日本語の音、訓読み、発音の習得に難しさがあるようだ。教科学習に関しては意味が理解できるので大きな困難ではないが、発音に関しては、自信がなく発話がなかなかできない子どもが数名見られた。ただし遅い場合でも8ヶ月程度で声が出せるようになっている。非漢字圏の子どもは、文字に対する興味の大きさによって理論的、抽象的な文章理解の差が大きい。両親や祖父母が日本人である場合、聞いたり話したりする力、生活の語彙力は早く身に付くが、学習用語が覚えにくいようだ。当教室で、ゆっくり易しい言葉で説明すれば理解できるものも、学校では理解できないので、教科の遅れにつながっていると思われる。ある程度意思疎通ができるようになると、体系的な学習が嫌になったり、文字学習をあきらめたりすることが原因で進歩が止まってしまうケースもあるが、年少者特有の問題、母国や家庭での学習習慣など考慮して対応する必要がある。

## (3)日本語教室設置運営の効果、成果

子どもたちにとって、役に立つ場であったかどうかが第一の視点であると思うので、年度末の感想文のまとめを報告とする。感想文のテーマは、「この教室でよかったこと、わかったこと」で、ひらがなで単文が書ける以上の日本語力がある4グループのものを抜粋した（参考資料c）。回答の約9割が、よかったという感想であった。

## (4)地域の関係者との連携による効果、成果等

### a.船橋市東部公民館

公民館の共催により、教室の継続確保、備品の置き場所の提供、コピー代の無料化を受けることができ、安定的に定期活動をする上で大きな支援となった。公民館事業のハッピーサタデーに参加したり、協力開催（世界の料理教室）することで、日本人の子どもたちと自然な交流の場ももてた。また、日本語教室と同時に利用している他のグループと接する

機会もあり、絵本の寄付があったり、折り紙の提供があったり、地域の日本人にとっても外国人児童生徒の存在が認識される良い機会になったと思われる。

#### b.船橋市教育委員会

教育委員会に保護者が子どもの転入手続きに来た際や、学校の教師等に保護者から子どもの日本語力の補強対策の相談があった際などに、当教室のパンフレットを渡し、紹介することができたことは、支援の場所が学校以外にもあることを周知する上で大きな成果があったと言えるだろう。80あまりの学校に入ってしまった後では、なかなか連絡や、ニーズの掘り起こしは難しい。子どもの学校での状況、支援方法についてもアドバイスをいただくことができた。

#### c.船橋市国際交流協会

協会ニュース（協会の広報誌）では、前年度に引き続き当教室の紹介記事が掲載された。外国人のみならず、日本人のボランティア希望者の目にもとまり、関心が広まった。10月の「国際交流のつどい」には、フリーマーケットで参加し、子どもたち自ら日本語を使って活動することができた。また耐震車、救急救命等の体験もできた。

#### d.学校派遣協力員

当グループのメンバーの多くが学校派遣協力員でもあり、教育委員会の主催する研修会に参加し、メンバー外の30名ほどの協力員、学校の国際理解担当教員等との情報交換の場ももてた。そこで子どもたちの学校での様子と日本語教室での様子を比較することができた。

#### e.専門家による研修

当グループ主催で、東京学芸大学の齋藤ひろみ准教授による、「子ども日本語教室」支援者研修をおこなった。テーマは、「子どもたちへの日本語学習支援—生活・学習・関係作りのためのコミュニケーション力を高める—」で、当グループメンバー15名、市内学校派遣協力員、近隣の支援団体・個人19名が参加した。年少者特有の問題、指導方法をワークショップで具体的に学ぶことができた。また、外部関係者とのネットワーク作りにも役だった。（参考資料c）

### (5)改善点、今後の課題について

#### a.現状

上記(1)～(4)までの報告の中で、子どもたちの希望に添えなかった点を挙げる。( )内は考えられる理由。

- ・保護者による送迎ができなくてやめる、または参加できない。(時間的、経済的)
- ・本人の学習意欲がない(心の問題か、学習習慣の問題か)
- ・活動が適していない(日本語を学ぶのか、学校の補習を望むのか)
- ・当教室では明るい、学校では話をしない(言葉の問題か、学校環境の問題か)

- ・規則を守れない（母国との生活習慣の違いからではないか、時間を守る、宿題等）
- ・年少者特有の心の問題（家庭環境は安定しているか、相談できる人がいるか）
- ・母国や家庭での学習習慣（家庭で母語での会話が十分あるか、知ること、学ぶことの大切さを感じているか）

#### b. 今後の課題

ボランティアが主催する教室として、どこまで対応できるかを考えて運営する必要がある。現在は、日本語教育の知識や技術を身につけたボランティアが中心となって活動しているので、日本語を学ぶことによって、日本の生活に適応してもらうこと、学校での教科理解につなげてもらうことが主な目標である。子どもや保護者が相談や教科の補習を望んでいる場合は、個別の問題になるので必ずしも十分に対応できていない。活動の幅を広げるか、学校や他の団体と連携していくか、選ぶ必要があるだろう。

#### c. 今後の活動予定、展望

H20 年度と同様に、週一回土曜日の定期的な日本語教室の開催による日本語の指導と、公開の夏休み教室、冬休み教室による多文化交流行事を行う。また、ボランティアが活動しやすい環境を作るためにも、募集活動や、研修によってボランティアの人数確保に努めたい。

### (6) その他参考資料

#### a. 日本語習得状況

【1】 小学校低学年 初期指導

JSLバンドスケール

利用教材

日本語入門セット、ひらがなことばカード  
日本語学級

性	国	学年	在日年数	2008, 10, 11				2008, 12, 6				2009, 3, 14				学習意欲、態度、進度、精神面、社会性、今後の課題		
				話す	聞く	書く	読む	話す	聞く	書く	読む	話す	聞く	書く	読む			
F	中国	小1	1.5ヶ月	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	1	1	日本語を覚えようとする意欲が強く、覚えた言葉を使う機会を自分から作る積極性がある。姉妹で良いい実でのライバル意識を持ち、毎回楽しく学習している。
F	中国	小2	1.5ヶ月	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	1	1	同上

1. 日本語入門セット、カードなど 2. 漢字の日本語での読み(特に、訓読み)・書きを中心 小6年程度の読み物 3,4 日本語入門セット 『はじめての日本語』『こどものほんご』

性	国	学年	在日年数	2008, 10, 11				2008, 12, 6				2009, 3, 14				学習意欲、態度、進度、精神面、今後の課題、社会性		
				話す	聞く	書く	読む	話す	聞く	書く	読む	話す	聞く	書く	読む			
F	タイ	中2	4.5ヶ月	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	1	1	オウム替えしなども発話しないので、タイ語で会話しながら少しずつ進めている。まずは心を開いて声を出してくれることを期待したい。
M	中国	中2	4.5ヶ月	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	1	1	滞日期間が短いので、日本語能力は日常の挨拶、ひらがな・カタカナの読み書きがやっと出来る状況。中学校でバスケット部に所属していて、部の中の親しい友人はいるらしい。その氏名を漢字で書き、発話できる。学校での授業が心配だが、慌てず、ゆっくり日本語を習得してくれればよいと考えている。	
M	中国	小6	4ヶ月	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	2	2	2	ひらがなとカタカナをととき混同することがある。理解力はあるが、おとなしく、自分から発話しない。友だちができれば上達するだろう。	
F	中国	小5	1ヶ月	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	1A	1A	ひらがな、カタカナはある程度習得。近くに元気な友だちがいるので、これから上達が期待できる。	

【3】就学前・小学生低学年

JSLバンドスケール

利用教材

手作りのカタカナとひらがなのカードで、カードとり 好きな動物、果物の絵を描き、一言感想を書く、絵描き歌、紙芝居作り、物の数え方、絵本の読み聞かせ

性	国	学年	在日年数	2008, 10, 11				2008, 12, 6				2009, 3, 14				学習意欲、態度、進度、精神面、今後の課題、社会性	
				話す	聞く	書く	読む	話す	聞く	書く	読む	話す	聞く	書く	読む		
M	ロシア	前	8ヶ月	1	1	1	1	2	2	2	2	2	3	2	2	2	初めは攻撃的だったが、最近協調性が出てきた。友だちとふざけて遊ぶことができるようになった。ひらがなを文としてとらえることが難しい。
M	中国	前	14ヶ月	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	3	2	3	学習意欲が強い。負けるとしょげていたが、今は切り替えることができるようになった。幼稚園の話しをしたり、歌を歌ってくれる。友だちと遊べるようになった。
M	フィリピン	幼	1年	3	3	2	2	5	5	3	3	6	6	3	5	5	祖父母と同居のためか、読み書きはほぼ完全。簡単な漢字も書ける。集中力もつき、年長者に従うこともできるようになった。
M	フィリピン	1	1年	3	3	2	2	5	5	3	3	6	6	4	4	4	年長の自負で仕切りたがる。本の朗読をしたがったり、早口で話そうとするが、まだ力がついて行かない場合がある。2年生になるのを楽しみにしている。

【4】小学生2・3年生 初期指導修了

JSLバンドスケール

利用教材

漢字プリント、算数プリント、読み書きプリント、ことわざカルタ、日記帳、レベル別多読ライブラリー、その他の本、まんがなど

性	国	学年	在日年数	2008.10.11				2008.12.6				2009.3.14				学習意欲、態度、進度、精神面、今後の課題、社会性
				話す	聞く	書く	読む	話す	聞く	書く	読む	話す	聞く	書く	読む	
F	フィリピン	2	1年	4	4	3	3	6	6	4	4	6	6	5	4	学習意欲が非常にあり、積極的にプリントやグループワークに参加する。学年レベルの漢字はほぼわかる。ただし、文章は、文法的間違いが目立つ（特に過去形と現在形の混同、「てにをは」）。読みは、つまりながらではあるが、間違わずに読むことができる。
F	ブラジル/ポルトガル	2	4年	7	7	7	7	7	7	7	7	—	—	—	—	学年レベルの漢字や算数ができる。文章もほぼ間違えない。たまに漢字を読むときにつまるが、あまり問題はないように思う。 2009.1月帰国
F	日本 帰国	3	3年	6	6	6	6	7	7	7	7	7	7	7	7	漢字、算数ともに学年レベル。たまに文章を書くときに「てにをは」を間違うが、話すときには気にならない。学習意欲も集中力も非常にあり、長い時間、多くの課題をこなすことができる。
F	フィリピン	3	3年	6	6	6	6	7	7	7	7	7	7	7	7	学年レベルの漢字はほぼ理解することができる。文章問題の算数が少し苦手。文章もほとんど間違いがない。学習意欲があり、積極的に勉強するが、他の子や先生の話をおまわり聞かない。また、長時間の勉強が苦手で、後半は集中力に欠ける。
F	日本/米	3	9年	4	5	4	4	4	5	4	4	5	6	5	5	学年レベルの漢字は半分くらいしかわからないようだ。算数も文章問題は苦手。しかし、以前よりも話す際のボディランゲージや絵で表現する、ということが少なくなり、言葉で説明ができるようになった。簡単な問題やゲーム等は積極的に参加するが、レベルが上がると学習意欲が低下し、トイレに行く。持続的学習が今後の課題である。

【5】小学生高学年 初期指導

JSLバンドスケール

利用教材

こどもの日本語1絵カード 文字ことばドリル 手作りカード

性	国	学年	在日年数	2008.10.11				2008.12.6				2009.3.14				学習意欲、態度、進度、精神面、今後の課題、社会性
				話す	聞く	書く	読む	話す	聞く	書く	読む	話す	聞く	書く	読む	
F	フィリピン	5	1年	2	2	3	2	2	3	3	2	3	4	3	4	意欲、態度よい。母語の英語で本や映像にも接しているが、日本語も耳慣れてきたようで、細かいポイントにも意識を集中して、学習を進めていく。優しく明るい。
M	中国	4	1年	2	2	1	1	2	2	1	1					1月になって休みが多くなり、成長がわからない
M	フィリピン	4	1年	2	2	2	2	2	2	2	2	4	4			土曜日の朝起きられないことが多く、兄だけ来ることが多い。話す・聞くことは家や学校で進歩しているようだが、読み書きはチェックできていない。
M	フィリピン	5	1年	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3	3	4	意欲はあるがマイペースで進め、自分の話が伝えきらず不消化を感じるようだ。話を文章化し表現できるようにしたい。明るく、周囲に楽しい雰囲気を感じさせる。自信をもって、積極的に日本の友と交流が持てるようにしたい。
F	中国	5	5ヶ月	—	—	—	—	1	1	1~2	1	2	2	3	4	グループの中では新しい学習者だが意欲的で、勤が良く理解が早い。まだ自信がなく、声が小さいが緊張感も取れ、グループ内の会話が進み笑顔も見られるようになった。発話が積極的に進められるようにしたい。

『にほんごをまなぼう3』 『全国標準テスト全科2年』 『国語毎日のドリル 5年』 『よくわかる算数3～5年』 『小学生国語ドリル5年』 ほか、手作り教材

性	国	学年	在日年数	2008, 10, 11				2008, 12, 6				2009, 3, 14				学習意欲、態度、進度、精神面、今後の課題、社会性		
				話す	聞く	書く	読む	話す	聞く	書く	読む	話す	聞く	書く	読む			
M	ブラジル	4	4年	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	—	—	—	—	2009, 1月帰国
M	フィリピン	6	3年	4	4	3	4	5	5	4	4	5	5	4	4			初めに比べ学習態度は良くなった。自分が知らないこと、苦手なことに集中できないが、手作業は納得するまで丁寧にする。語彙が増えた。
M	中国	6	1年	2	3	3	3	3	3	3	3	3	4	4	3~4			まじめに取り組む。ドリルは一人で黙々とやる。声を出して質問できず、鉛筆で示す。年度末に始めた詩の朗読で初めて他の人に聞こえる声を出すことができ、本人も顔が輝いた。
M	中国	4	1年	3	3	3	3	3	4	4	4	4	5	5	5			学習意欲はある。自分から発言したり、意見をいうことができる。他の人にかまわず自己主張をすることがあるが、注意をすると素直に従う。
F	中国	6	7ヶ月	2	3	3	3	4	4	4	4	5	5	5	5			学習意欲は強い。初めて聞く言葉、使った教材をノートに写していく。わからないときは質問する。自己中心的なところもあるが、注意すれば聞き入れる。中学にいってもついていけるだろう。

みんなの日本語Ⅱ終了。中級読解。文法。ニュースやロールプレー

性	国	学年	在日年数	2008, 10, 11				2008, 12, 6				2009, 3, 14				学習意欲、態度、進度、精神面、今後の課題、社会性
				話す	聞く	書く	読む	話す	聞く	書く	読む	話す	聞く	書く	読む	
M	中国	中1	1.8年	5	5	6	6	6	6	7	6	6	7	7	7	知識が豊富で、追求して考える。友達との協調性が心配。
F	中国	中2	2年	5	5	6	6	6	6	7	6	6	7	7	6	まじめで勉強熱心。納得がいくまで追求する積極性もある。日本語尿録試験2級合格
M	中国	中2	1.8年	4	5	6	5	6	7	7	6	6	7	7	6	知識は豊富だが発言が少なく自分の殻に閉じこもる。
M	中国	中2	1.8年	3	3	3	3	4	5	5	4	4	5	5	4	学習意欲が乏しく通常の教科書では進歩しない。出席はするので、好きなことで伸ばす方法を考えた方がよい。
F	中国	6	1年	5	5	5	5	6	5	5	5	6	6	6	5	すべてに吸収が早いので日本語の会話は問題ないレベルだが、格別に元気な性格で落ち着きがない。
F	中国	5	1年	4	5	5	5	5	5	6	5	5	6	7	6	まじめでよく勉強する。特に作文力に優れている。おとなしいので積極的な発言があればもっと会話力がつくだろう。
M	中国	中2	1.2年	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	聞き取りや書く能力はあるが学習意欲がもてないのか、読みの力が伸びない。一旦休んでいたところを自ら再開する意志があるので、個別の問題に対応する必要があるかもしれない。

『マリアとケンのいっしょにほんご』『わいわい日本語活動集』『楽しく読もう』『日本語を楽しく読む本 初中級』『ことわざカルタ』『教室で詩を楽しむ30のアイデア』など

性	国	学年	在日年数	2008, 10, 11現在				2008, 12, 6現在				2009, 3, 14現在				学習意欲、態度、進度、精神面、今後の課題、社会性
				話す	聞く	書く	読む	話す	聞く	書く	読む	話す	聞く	書く	読む	
F	タイ	中2	4	6	6	4	4	6	6	4	4	6	6	4	4	日本語でのコミュニケーションができるので、地道な学習は苦手。書いてまとめるなどの活動は好きではないので、なかなか上達しない。数学の教科学習の遅れを取り戻す必要がある。
F	日本	中2	14	5	5	4	4	6	6	5	5	6	6	5	5	心の問題、漢字に対する嫌悪感が長く続いたので、少しずつ信頼関係を作って、学習活動に引っ張るようにしてみた。当初より自分勝手な発言や行動がすくなってきた。自尊心などを上手にコントロールしながら、遅れを取り戻していく必要がある。
F	中国	中2	10ヶ月	5	5	5	5	6	6	6	6	7	7	6	6	学習意欲は非常に高く、自習もできるので、簡単な間違いを直すだけでよい。自然な日本語を身につけたいと、自分なりの目標をもって通っているので、自主性に任せている。
M	フィリピン	中1	10ヶ月	3	3	3	3	4	4	4	4	4	4	5	5	漢字への興味を中心に活動を進めていた。あらすじの理解はできるが、数学の文章題などの理論的な文章や、専門用語が難しく、諦めているところがある。今後は教科の対応が必要。
M	フィリピン	中1	9ヶ月	4	4	3	3	5	5	4	3	5	5	4	4	生活の言葉は大変よく理解し、話すことができる。理科、社会、数学など教科の専門用語が理解できないので、遅れに苦しんでいるようだ。教科の対応が必要。
F	中国	中1	9ヶ月	1	1	2	2	2	2	2	2	3	3	3	3	明るく、日本の文化にも大変興味があるので、適応しているようだ。日本語習得はやや遅いが、自分のペースで学んでいる。わからないことも質問できる。
F	中国	小6	8ヶ月	—	—	—	—	2	2	2	2	3	2	3	3	協調性、目的意識が低いので、学ぶ量は少ない。気が向くとがんばるので、少しずつ会話が续くようになってきた。同国人の友だちに会うのを楽しみに通っている。
F	フィリピン	小5	1.5年	—	—	—	—	4	4	4	4	4	4	4	4	自分の勉強の目的やペースをつかめないまま、すわっていることが多い。自分で通うことを決めて来たので、この教室に期待するものがあるのだろう。同じレベルのグループで同じ内容をしっかり身につける方が良いかもしれない。

性	国	学年	在日 年数	2008, 10, 11現在				2008, 12, 6現在				2009, 3, 14現在				学習意欲、態度、進度、精神面、今後の課題、社会性
				話す	聞く	書く	読む	話す	聞く	書く	読む	話す	聞く	書く	読む	
M	中国	中3	1.8年	3	4	4	3	3	4	4	3	3	4	4	3	県立高校に一般入試で合格。性格は穏やかで明るく、日本の中学にもうまく順応してきたようだ。学習面では集中力がなく、宿題の提出が悪く、遅刻も多かった。
M	中国	中3	1.8年	4	4	5	5	4	4	5	5	4	4	5	5	県立高校に一般入試で合格。まじめで日本語の学習は、テキストでは正確に習得できていた。消極的な性格で、発話に乏しく、会話力があまり伸びなかったのが残念だ。
F	中国	中3	1.2年	4	4	5	5	5	5	6	6	5	5	6	6	私立高校に、一般入試B推薦で合格。一番年長で、グループをよくリードしてくれた。学習意欲もあり、よく勉強した。高校でも積極的に活動して伸びていくだろう。
M	中国	中3	2年	3	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	県立高校、特色化選抜で合格。部活のサッカーに夢中で、学習には集中力がなかった。私語が多く困ったが、受験の準備は用意周到で難関を合格。高校では、まじめに日本語力を伸ばしてくれることを期待する。
F	韓国	中卒	10ヶ月	—	—	—	—	4	4	5	5	4	4	6	5	県立高校に特色化選抜で合格。日本語学校と並行していたので、日本語の上達は早かった。本人は受験に関する情報が役に立ったと言っている。
F	中国	中3	2.5年	6	6	6	6	6	6	6	6	—	—	—	—	一般入試で県立高校に合格。学習意欲が強く、初級終了までは早かったが、おとなしいので、会話による自己表現力はあまり判断できなかった。終盤の受験勉強は自力で。

## b.年度末感想文のまとめ

感想文のテーマ「この教室のよかったところ、わるかったところ」より抜粋。

## 【グループ4 小学3年】

- ・いっしょに勉強している M ちゃんが大好きでした。
- ・算数セットも大好きでした。
- ・お店屋さんごっこや、すごろくがすごく楽しかったので、また遊びたい。
- ・一年前にくらべて絵も描けるようになった。字も上手になった。
- ・初めて教室にきたとき、E ちゃんや A ちゃんが友だちになろうといてくれてうれしかった。
- ・先生から賞状をもらってうれしかった。またがんばりたいです。
- ・最初来たときはあまり日本語がわからなかったけど、今は日本語がわかるようになりました。
- ・好きな勉強は国語です。わけは、漢字を書くのが好きだからです。

## 【グループ6 小学4年～6年】

- ・毎日楽しかった。お友達ができた。
- ・最初地球っ子に来たくなかったけれど、今は普通になった。
- ・他の国の友だちができたのでうれしいです。
- ・中学になったらもっと友だちを作りたいです。また地球っ子に入ります。

- ・初めて声を出して、僕はうれしいです。また声を出します。

#### 【グループ7 小学5年～中学2年】

- ・良いところは、土曜日だということ、色々な人がいること、グループごとに分かれていること、ゲームをやること、読む本が面白い、日本について知ることができる。
- ・悪いところは、一週間に一日だけ。休み時間が短い。人数が多いけど教室が小さい。勉強の時間が短くて、うるさい。
- ・良いところは、いっぱい人がいて、みんなといっしょに勉強すること。先生達がやさしくて、班と班がときどきいっしょに勉強することがあって楽しい。日本の伝統的なことを教えてくれる。同じ国の人といっしょに勉強できる。休み時間はちゃんと休むところ。
- ・悪いところは、音楽も欲しい。遠いので天気がわるいと来られないことがある。外でも勉強したい。
- ・良いところは、学校の先生より距離感がない。同じ国の人がいる、駅から近い。
- ・悪いところは、始まりが早い。うるさい。

#### 【グループ9 中学3年】

- ・ここで一年半の学習で日本語のレベルが上がった
- ・いろいろな友だちもできて、楽しかった
- ・毎週の勉強は楽しかった。
- ・日本語がわかるようになって、日本も面白いと思った。
- ・自分で意識して勉強しなかったら、何を勉強してもできないことがわかった。
- ・先生達がやさしくて安心した。
- ・この一年で授業がほとんどわかるようになった。
- ・一週間の中で土曜日が一番楽しかった。友だちに会えるから。
- ・初めは恥ずかしかったがみんなやさしく接してくれるので、今はとてもおもしろい。
- ・高校を選ぶ問題で困っていた時、ボランティアの先生にいろいろ教えていただいて、おかげで志望校に合格できました。
- ・日本についてもたくさんお話を聞きました。

#### c.研修

平成20年度文化庁地域日本語教育支援委託事業地球っ子プロジェクト「子ども日本語教室」支援者研修について

#### 【参加者募集案内】

#### 募集の方法

- ・千葉県H20年度帰国・外国人児童生徒受け入れ事業 ボランティア地区代表者会議
- ・船橋市教育委員会指導課より、派遣協力員、国際理解担当教員へ連絡
- ・船橋市国際交流協会日本語教室委員会より成人の日本語教室ボランティアに連絡

#### 研修の目的

学校や地域での生活に必要な日本語教育とは何か、年少者向けの視点を養い、学校や近隣の関係者との連携につながるような知見を得ることを目的として研修の場を設けることにしました。

**テーマ** 子どもたちへの日本語学習支援  
—生活・学習・関係作りのためのコミュニケーション力を高める—

**講師** 齋藤ひろみ 東京学芸大学 准教授

#### **内容**

生活、学習、仲間作りの場面で、子どもたちはどのようなコミュニケーションを行っているのでしょうか。多様な言語文化背景をもつ子どもたちが、そのコミュニケーションに参加するには、どのような日本語の力が必要なのでしょうか。ワークショップを通して、外国人児童生徒のコミュニケーション力を高めるためのタスク型の言語活動を一緒に考えます。

**日時** 2009年2月14日（土） 13:30 -16:30

**場所** 船橋市 中央公民館 第4集会室

**対象** 地球っ子プロジェクトのメンバー  
外国人年少者の指導に当たっている小中学校の教員、協力員  
活動中の近隣の団体のボランティア  
特に、新しく指導を始めた人  
約30名

#### **【研修の実際】**

##### **参加者数（31名）**

地球っ子プロジェクトの会員 （13名）  
船橋市内学校派遣協力員 （5名）  
船橋市内成人の日本語教室ボランティア （4名）  
近隣の団体のボランティア （7名）  
船橋市教員、指導員 （2名）

#### **内容**

子ども特有の日本語教育の心構えについての講義と、教室での活動作りのワークショップの2点について研修を受けた。

##### **(1) 子どものための JSL (Japanese as a Second Language) という考え方の説明**

・生活上のコミュニケーションの道具としての日本語の力を高める

情報を得る、安全で健康に暮らす、友人関係を作る、自己表現をするための日本語が、特に初期段階で必要。文化・習慣の違いによる誤解を避ける力。

・学校などでの学習に参加するための日本語の力を高める

オウム返しや書き写しではなく、日本語で考える力、考えた事を文字で表す、読んで理

解する力が必要である。

## (2) 教室活動作り(作業)

作業1 日本語の授業に「子どもたちのコミュニケーション場面」を持ち込む

「一になります」を実際に使う場面を考え、活動のためのタスク、会話例、準備する教材、教具をグループ毎にポスターにまとめて発表した。1例ごとに齋藤先生より、よりよい使い方ができるようアドバイスをいただいた。できあがった8グループのタスク例は研修後A4にまとめて参加者に配った。

作業2 学習場面を設定して、言語活動を考える

ワークショップの時間がなかったので、長さの単位の授業例の説明を受けた。A) 日本語はたどたどしいが、母国で学習していて、概念は理解している B) 日常会話はできるが、まだ理解力が弱かったため、理解できなかった。思考力はある。C) 幼少期に来日し、会話はよくできるが、読み書きの力が弱く、概念の理解できない、という児童の3つのタイプ別に、活動の作り方を変える必要があること、単に、ゆっくり易しい日本語でくり返し説明すれば良いわけではないことを例を見ながら考えた。

## 成果

実際の現場に沿った内容の研修はとても勉強になった。ワークショップは教え方の情報交換のような場にもなり有意義な研修だったなど、多くの参加者から役に立ったとの感想をいただいた。